

令和3年2月3日



茅ヶ崎中学校だより 2月号

横浜市立茅ヶ崎中学校 TEL 941-0601
校長 高山 俊哉 FAX 942-9216
E-mail: y2chigas@edu.city.yokohama.jp

学校HP: <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/chigasaki/>

「おいしかったですの大切さ」

校長 高山 俊哉

このコロナ禍、巣ごもりやテレワーク、ソーシャルディスタンスで人と人とのコミュニケーションが不足気味であるというようなことが言われています。つい昨年までこの「コミュニケーション不足」は現代の非常に大きな問題であると言われていました。しかし、今は人と人との接触の機会を減らすことが最優先となり、この話はずっとトーンダウンしてしまったように感じます。でも私はこのことがコロナ克服後に大きな禍根を残すことになるような気がしてなりません。

先日ネットの記事ではありますが、このような話がありました。

『通りすがりにふらっと老夫婦の営む小さな食堂に入った。そこでの食事が素朴で作り手のまじめさが伝わってきて本当においしかった。これまで、おいしいと感じても精算の時に「おいしかった」と伝えることは照れくさいし、粹ではないと思っていたので、言ったことはなかった。今回勇気を出して「おいしかったです。」とおばあさんに伝えた。扉を閉めて店を出たあと、後ろで「あんた、お客さんがおいしかったって。よかったねえ。」という声が聞こえた。それを聞いて、これからは素直に照れずに「おいしかった。」と伝えようと心に誓った。』

というものです。顔を突き合わせて、四六時中一緒にいるときは以心伝心で、わざわざ言葉にしなくても通じることがあるでしょう。しかし、このコロナ禍のような特別な時は普段は口にしない感謝など、ポジティブな言葉を積極的に伝えていくことが本当に大切なのだろうなどこの記事を読んで思いました。

年が明け1か月が経ちましたが、この間も学校行事や授業の変更などがあり、大変ご迷惑をおかけしています。

学校は安全であることが最優先だと考えています。今後とも市のガイドラインに則って感染防止対策に気をつけてまいります。と、同時に学校にとっては生徒の皆さんに対する学習と活動の保障も重大な責務です。失敗し成功し、いろいろな体験をしながら自分の可能性と人と人の関係を学んでいく場が学校です。リスクが0にできないから何でも中止ではなく、安全と学校の役割とのバランスを常に考えながらコロナ禍を乗り切っていきたいと思っています。この“落としどころ”に関しては様々なご意見がおありになるとは思いますが、情報を的確に収集して、多くの知見を生かしながら毎日毎日その時点で最善と考えられる選択をしてみたいと思いますので、何卒ご理解を賜ります様よろしくお願いいたします。



栽培でお世話になった吉野さんへの
10組生徒達からのお礼の手紙

“健腸長寿”を学んだ

当日使用した
テキストです

学校保健委員会-1/13 実施-



1月13日、本校調理室で学校保健委員会が実施されました。乳酸飲料メーカーの方が講師として来校され、『おなか元気教室』ということで、健康を保つには、腸を元気にすることが大切だと教えてくださいました。講義は授業後の調理室で始まり、保健委員の皆さんが参加してくれたのですが、とても熱心に話を聞き、配付されたテキストに



大腸の模型を伸ばして見せてくれている様子

説明されたことを丁寧に記録していました。講師の先生がとてもわかりやすく、模型や画像や動画を駆使して、最後まで飽きさせないように構成を考えて解説してくださったのが功を奏したようです。中でも、小腸と大腸の模型を使い、実際に伸ばした状態で確認し、5～7mもある小腸がおなかに収納されていることは知識としてはわかっていたものの、実際の長さを見て皆、とても驚いたようでした。

腸内フローラの話、NK細胞ががん細胞をやっつける映像など、興味深い資料とともに健康管理に役立つことをたくさん知ることができました。最後には乳酸飲料を参加者みんなに一本ずつプレゼントしていただきました。

参加した委員の人は是非クラスの仲間にも学んだことを伝えてください。こんな時だからこそ、“健腸”に努めて、免疫力をあげていきましょう。



みんなで手作りした看板

それぞれの成長の姿がありました

1月26日の5、6校時に、10組による合同学芸会での発表内容の動画撮影がありました。3年生の最後の昼食日となる、2月2日のお昼の放送で紹介されたものです。5校時にみっちりリハーサルを重ね、6校時に本番となりました。開始前に全員で輪になって気合いを入れる場面がありましたが、ステージ下で見守り、撮影をする担任と支援員の先生3人の思いも含めて、全員で集大成を表現しようという意気込みが感じられました。観客のいない体育館ではありましたが、そんな事情には関係なく、胸をはり、笑顔で踊り語る、それぞれの姿に成長を感じ、とても温かな気持ちになりました。お揃いの学級Tシャツの背中にある10組らしさ満載のロゴマークが、一人ひとりの背中を押してくれているようでした。



声をはって一人ひとりが語る場面

学習成果が校内外で入賞、展示されました

入賞作品は作品集『ともしび』に掲載予定です。

■ 横浜市立中学校作文コンクール

- * 優秀 〈意見・主張〉 3年
- * 佳作 〈俳句〉 3年
- " " 3年

- さん『未来の地球と自然環境を守る』
- さん『ジャンケンし』
- さん『畑にて』

■ 読書感想画コンクール横浜地区審査

- * 優良 〈自由〉 3年
- * 佳作 〈自由〉 3年

- さん
- 『諦めた先のもの』
- さん『孤 独』



横浜市民ギャラリーでの展示風景

■ 市新聞コンクール

- * 優秀 〈学級新聞の部〉 1年7組
- * 努力 〈 " " 〉 2年6組

2/6(土)~21(日)
区の優秀美術作品
展で、港北みなも
3Fで展示されます

■ 総合文化祭中学校美術作品展

- | | | | |
|--------------|----|---------------|----|
| * 〈読書感想画〉 1年 | さん | * 〈銅板レリーフ〉 3年 | さん |
| 〈 " " 〉 1年 | さん | 〈 " " 〉 3年 | さん |
| 〈 " " 〉 2年 | さん | 〈 " " 〉 3年 | さん |
| 〈 " " 〉 3年 | さん | 〈 " " 〉 3年 | さん |

■ 書写展

- * 市書写展 3年 さん
- * 区書写展 3年 さん
- 2年 さん
- 1年 さん



市区の書写展出品作 クラスから選ばれた金賞作品

* 地域の皆様の支援があちこちで・・・ *



東門外側の花壇の様子

このコロナ禍にあっても、本校はこれまでご協力いただいている地域の皆様から、変わらず温かなご支援をいただいております。

それが学校周辺の植栽と外周のランニングロードの整備です。季節に応じて目を楽しませてくれる花々は『花いっぱいプロジェクト』の方々が、ロード路面にウッドチップを敷き詰めて、生徒達の足に優しく、走りやすい整備を行ってくださっているのが『おやじの会』の皆様です。こうした地域のお気持ちに支えられ、見守られていることに心から感謝申し上げます。有難うございます。



整備されたランニングロード